2019.6.10　京都市京セラ美術館プレスリリース

躍動感溢れる動物たち！
近代京都の美の傑作が大集合！

竹内栖鳳《雄風》

西山翠嶂《馬》

京都市美術館所蔵品展

The Special Exhibition of Masterpieces
from Kyoto Municipal Museum of Art

動物パラダイス

Looking at Animals

2019.8.29 THU — 9.16 MON

会期中無休

来年3月21日の開館に向けて改修中の京都市美術館（通称：京都市京セラ美術館）では、閉館中も所蔵品の魅力に触れていただく企画として、美術館「えき」KYOTOにおいて、「京都市美術館所蔵品展」を開催しますので、お知らせします。3回シリーズの第3回目である今回は、ICOM京都大会関連イベントとして実施。テーマは、「動物パラダイス」。竹内栖鳳、六代清水六兵衛、山口華楊ら、絵画、彫刻、工芸などの様々な分野の作家が表現した愛らしい動物たちの作品群を紹介します。

動物パラダイス

1　日時

令和元年8月29日（木）～9月16日（月・祝）　※会期中無休

午前10時～午後8時　※百貨店営業時間に準じる、入館は閉館30分前まで

2．　会場

美術館「えき」KYOTO（ジェイアール京都伊勢丹7階隣接）

3．　入場料

一般900（700）円、大高生700（500）円、中小生500（300）円

※（　）内は前売り料金

※前売券は7月27日（土）～8月28日（水）

※美術館「えき」KYOTO窓口、ローソンチケット（Lコード：54326）、チケットぴあ（Pコード：769-763）、京都新聞文化センターほか各プレイガイドで販売

4．　主な出品作品

西村五雲《園裡即興》

橋本高昇《親子の鹿》

金島桂華《画室の客》

五代清水六兵衛（六和）《大礼磁仙果文花瓶》

会場では、作家の眼を通した、人と動物の様々な関わりを見つけ出すことができます。同じ種類の動物でも、表現手法や作家が違えば随分異なる表現となります。動物に囲まれる夏の楽園にぜひお越しください。

学芸員　中谷至宏

5．　主催

京都市、美術館「えき」KYOTO、京都新聞

参考：京都市美術館の再整備について

京都市では、開館以来80年以上の長きにわたり、日本文化の継承と創造に貢献してきた京都市美術館を、
将来にわたり、市民に愛され世界に誇れる美術館としていくため、再整備に向けた取組を推進中。
令和2年3月21日にリニューアルオープンを予定しています。

再整備後に常設展が誕生

京都市美術館の近代日本画の所蔵作品数は、日本トップクラス！
常設展では、竹内栖鳳や上村松園などの京都画壇の名品をはじめとする、優れたコレクションをいつでも楽しめるよう、四季に合わせて展示替えを行います。再整備後は、移ろいゆく季節とともにある日本の「心」を感じにお越しください。

お問合せ

京都市京セラ美術館 広報
〒606-8344　京都市左京区岡崎円勝寺町 124
TEL：075-275-4271
MAIL：pr@kyoto-museum.jp